

平成 23 年 7 月 8 日

外務省 国際協力局長
佐渡島 志郎 殿

結核対策の国際協力に関する平成 24 年度予算についての要望

1. 東日本大震災の影響、政府の財政状況の逼迫などにより、ODA 関連予算が減少することが懸念されています。我々は、世界の結核対策を推進する立場からこの状況を憂慮しております。特にエイズ・結核・マラリア対策世界基金（Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria, GFATM）への資金拠出については、政府として国際的に公約したものであり、确实・十分かつ早急にこれが実行されることが期待されています。既に表明した国際的コミットメントを資金面においても、誠実に実現して頂けるよう要望致します。

GFATM による結核対策への供与額の割合は 15%と、エイズ対策(61%)、マラリア対策(24%) に比べて低く、この割合の多少は、疾病ごとの対策経費の性格（安くできるか、高額にならざるを得ないか）にもよると考えますが、多剤耐性結核、エイズとの重複感染等の問題などへの対応の現状をみれば、供与額は十分とは言えません。GFATM へ資金拠出をする際には、結核対策へ資金が使用されるようご配慮頂きたく要望いたします。

また、助成申請を出す途上国において、抗結核薬管理など結核対策専門家が不足していることも GFATM が結核対策について有効に使用されない大きな原因です。よって、申請案件の作成を含めて、現地で技術指導にあたる専門家の拡充が必要と考えます。これにより、実現可能で効果的な案件の申請が可能となり、結果として、案件承認件数の増大につながります。我が国が、GFATM を通して、途上国の結核対策により効果的に協力できるよう、ご配慮いただけるよう要望いたします。

また、二国間協力についても、昨年 9 月に発表されました国際保健政策に、結核を含む三大感染症対策に関する取り組みを掲げ、GFATM を通じた支援との相乗効果を高める取組みを強化し、支援の効果的な実施や持続可能性の向上を目指すことが明記されております。結核対策プロジェクトの更なる推進を目指し、GFATM、外務省、JICA、結核予防会、等で協力態勢がとれるようご配慮頂くとともに、二国間技術協力プロジェクトにおいて、効果的、継続的な結核対策が可能となるように資金面においても裏付けされるよう要望いたします。

2. また、WHO 任意拠出金について、結核部門への資金拠出を増加させ、WHO による時宜にあった政策的な技術協力を可能とするようご配慮頂きたく要望いたします。

WHO と連携した Stop TB Partnership の世界抗結核薬基金 (Global Drug Facility, GDF) の事業をテコ入れする必要がある場合など、適宜、政策的に出資を行うことが可能であれば、出資者として存在感を高め、また効率的に援助を行うことが可能となると考えられます。

今回の東日本大震災は、戦後最悪の自然災害であり、復興は容易ではありません。しかし、世界には貧困や疾病などにより同じように困難に直面している人たちがいます。「震災に際し、国際社会の温かい「絆」にふれることができた。だからこそ日本は世界と共に歩み、MDGs 達成に貢献していきたいと考えている。そして国際的コミットメントを誠実に実現していく」と「ミレニアム開発目標フォローアップ会合」で菅首相が述べておられます。結核対策を通じてそのコミットメントの一端を担い、以上の状況を踏まえ、我が国の途上国支援の結核対策関連予算を充実させることを要望いたします。

特定非営利活動法人

ストップ結核パートナーシップ日本

代表理事 森 亨

同 田中慶司

同 白須紀子

平成 22 年 7 月 8 日

外務省 専門機関室長
三浦 潤 殿

結核対策の国際協力に関する平成 24 年度予算についての要望

1. 東日本大震災の影響、政府の財政状況の逼迫などにより、ODA 関連予算が減少することが懸念されています。我々は、世界の結核対策を推進する立場からこの状況を憂慮しております。特にエイズ・結核・マラリア対策世界基金（Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria, GFATM）への資金拠出については、政府として国際的に公約したものであり、确实・十分かつ早急にこれが実行されることが期待されています。既に表明した国際的コミットメントを資金面においても、誠実に実現して頂けるよう要望致します。

GFATM による結核対策への供与額の割合は 15%と、エイズ対策(61%)、マラリア対策(24%) に比べて低く、この割合の多少は、疾病ごとの対策経費の性格（安くできるか、高額にならざるを得ないか）にもよると考えますが、多剤耐性結核、エイズとの重複感染等の問題などへの対応の現状をみれば、供与額は十分とは言えません。GFATM へ資金拠出をする際には、結核対策へ資金が使用されるようご配慮頂きたく要望いたします。

また、助成申請を出す途上国において、抗結核薬管理など結核対策専門家が不足していることも GFATM が結核対策について有効に使用されない大きな原因です。よって、申請案件の作成を含めて、現地で技術指導にあたる専門家の拡充が必要と考えます。これにより、実現可能で効果的な案件の申請が可能となり、結果として、案件承認件数の増大につながります。我が国が、GFATM を通して、途上国の結核対策により効果的に協力できるよう、ご配慮いただけるよう要望いたします。

また、二国間協力についても、昨年 9 月に発表されました国際保健政策に、結核を含む三大感染症対策に関する取り組みを掲げ、GFATM を通じた支援との相乗効果を高める取組みを強化し、支援の効果的な実施や持続可能性の向上を目指すことが明記されております。結核対策プロジェクトの更なる推進を目指し、GFATM、外務省、JICA、結核予防会、等で協力態勢がとれるようご配慮頂くとともに、二国間技術協力プロジェクトにおいて、効果的、継続的な結核対策が可能となるように資金面においても裏付けされるよう要望いたします。

2. また、WHO 任意拠出金について、結核部門への資金拠出を増加させ、WHO による時宜にあった政策的な技術協力を可能とするようご配慮頂きたく要望いたします。

WHO と連携した Stop TB Partnership の世界抗結核薬基金 (Global Drug Facility, GDF) の事業をテコ入れする必要がある場合など、適宜、政策的に出資を行うことが可能であれば、出資者として存在感を高め、また効率的に援助を行うことが可能となると考えられます。

今回の東日本大震災は、戦後最悪の自然災害であり、復興は容易ではありません。しかし、世界には貧困や疾病などにより同じように困難に直面している人たちがいます。「震災に際し、国際社会の温かい「絆」にふれることができた。だからこそ日本は世界と共に歩み、MDGs 達成に貢献していきたいと考えている。そして国際的コミットメントを誠実に実現していく」と「ミレニアム開発目標フォローアップ会合」で菅首相が述べておられます。結核対策を通じてそのコミットメントの一端を担い、以上の状況を踏まえ、我が国の途上国支援の結核対策関連予算を充実させることを要望いたします。

特定非営利活動法人

ストップ結核パートナーシップ日本

代表理事 森 亨

同 田中慶司

同 白須紀子

平成 22 年 7 月 8 日

厚生労働省 国際協力室長
武井 貞治 殿

結核対策の国際協力に関する平成 24 年度予算についての要望

1. 東日本大震災の影響、政府の財政状況の逼迫などにより、ODA 関連予算が減少することが懸念されています。我々は、世界の結核対策を推進する立場からこの状況を憂慮しております。特にエイズ・結核・マラリア対策世界基金（Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria, GFATM）への資金拠出については、政府として国際的に公約したものであり、确实・十分かつ早急にこれが実行されることが期待されています。既に表明した国際的コミットメントを資金面においても、誠実に実現して頂けるよう要望致します。

GFATM による結核対策への供与額の割合は 15%と、エイズ対策(61%)、マラリア対策(24%) に比べて低く、この割合の多少は、疾病ごとの対策経費の性格（安くできるか、高額にならざるを得ないか）にもよると考えますが、多剤耐性結核、エイズとの重複感染等の問題などへの対応の現状をみれば、供与額は十分とは言えません。GFATM へ資金拠出をする際には、結核対策へ資金が使用されるようご配慮頂きたく要望いたします。

また、助成申請を出す途上国において、抗結核薬管理など結核対策専門家が不足していることも GFATM が結核対策について有効に使用されない大きな原因です。よって、申請案件の作成を含めて、現地で技術指導にあたる専門家の拡充が必要と考えます。これにより、実現可能で効果的な案件の申請が可能となり、結果として、案件承認件数の増大につながります。我が国が、GFATM を通して、途上国の結核対策により効果的に協力できるよう、ご配慮いただけるよう要望いたします。

また、二国間協力についても、昨年 9 月に発表されました国際保健政策に、結核を含む三大感染症対策に関する取り組みを掲げ、GFATM を通じた支援との相乗効果を高める取組みを強化し、支援の効果的な実施や持続可能性の向上を目指すことが明記されております。結核対策プロジェクトの更なる推進を目指し、GFATM、外務省、JICA、結核予防会、等で協力態勢がとれるようご配慮頂くとともに、二国間技術協力プロジェクトにおいて、効果的、継続的な結核対策が可能となるように資金面においても裏付けされるよう要望いたします。

2. また、WHO 任意拠出金について、結核部門への資金拠出を増加させ、WHO による時宜にあった政策的な技術協力を可能とするようご配慮頂きたく要望いたします。

WHO と連携した Stop TB Partnership の世界抗結核薬基金 (Global Drug Facility, GDF) の事業をテコ入れする必要がある場合など、適宜、政策的に出資を行うことが可能であれば、出資者として存在感を高め、また効率的に援助を行うことが可能となると考えられます。

今回の東日本大震災は、戦後最悪の自然災害であり、復興は容易ではありません。しかし、世界には貧困や疾病などにより同じように困難に直面している人たちがいます。「震災に際し、国際社会の温かい「絆」にふれることができた。だからこそ日本は世界と共に歩み、MDGs 達成に貢献していきたいと考えている。そして国際的コミットメントを誠実に実現していく」と「ミレニアム開発目標フォローアップ会合」で菅首相が述べておられます。結核対策を通じてそのコミットメントの一端を担い、以上の状況を踏まえ、我が国の途上国支援の結核対策関連予算を充実させることを要望いたします。

特定非営利活動法人

ストップ結核パートナーシップ日本

代表理事 森 亨

同 田中慶司

同 白須紀子

平成 22 年 7 月 8 日

厚生労働省 審議官
麦谷 眞里 殿

結核対策の国際協力に関する平成 24 年度予算についての要望

1. 東日本大震災の影響、政府の財政状況の逼迫などにより、ODA 関連予算が減少することが懸念されています。我々は、世界の結核対策を推進する立場からこの状況を憂慮しております。特にエイズ・結核・マラリア対策世界基金（Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria, GFATM）への資金拠出については、政府として国際的に公約したものであり、确实・十分かつ早急にこれが実行されることが期待されています。既に表明した国際的コミットメントを資金面においても、誠実に実現して頂けるよう要望致します。

GFATM による結核対策への供与額の割合は 15%と、エイズ対策(61%)、マラリア対策(24%) に比べて低く、この割合の多少は、疾病ごとの対策経費の性格（安くできるか、高額にならざるを得ないか）にもよると考えますが、多剤耐性結核、エイズとの重複感染等の問題などへの対応の現状をみれば、供与額は十分とは言えません。GFATM へ資金拠出をする際には、結核対策へ資金が使用されるようご配慮頂きたく要望いたします。

また、助成申請を出す途上国において、抗結核薬管理など結核対策専門家が不足していることも GFATM が結核対策について有効に使用されない大きな原因です。よって、申請案件の作成を含めて、現地で技術指導にあたる専門家の拡充が必要と考えます。これにより、実現可能で効果的な案件の申請が可能となり、結果として、案件承認件数の増大につながります。我が国が、GFATM を通して、途上国の結核対策により効果的に協力できるよう、ご配慮いただけるよう要望いたします。

また、二国間協力についても、昨年 9 月に発表されました国際保健政策に、結核を含む三大感染症対策に関する取り組みを掲げ、GFATM を通じた支援との相乗効果を高める取組みを強化し、支援の効果的な実施や持続可能性の向上を目指すことが明記されております。結核対策プロジェクトの更なる推進を目指し、GFATM、外務省、JICA、結核予防会、等で協力態勢がとれるようご配慮頂くとともに、二国間技術協力プロジェクトにおいて、効果的、継続的な結核対策が可能となるように資金面においても裏付けされるよう要望いたします。

2. また、WHO 任意拠出金について、結核部門への資金拠出を増加させ、WHO による時宜にあった政策的な技術協力を可能とするようご配慮頂きたく要望いたします。

WHO と連携した Stop TB Partnership の世界抗結核薬基金 (Global Drug Facility, GDF) の事業をテコ入れする必要がある場合など、適宜、政策的に出資を行うことが可能であれば、出資者として存在感を高め、また効率的に援助を行うことが可能となると考えられます。

今回の東日本大震災は、戦後最悪の自然災害であり、復興は容易ではありません。しかし、世界には貧困や疾病などにより同じように困難に直面している人たちがいます。「震災に際し、国際社会の温かい「絆」にふれることができた。だからこそ日本は世界と共に歩み、MDGs 達成に貢献していきたいと考えている。そして国際的コミットメントを誠実に実現していく」と「ミレニアム開発目標フォローアップ会合」で菅首相が述べておられます。結核対策を通じてそのコミットメントの一端を担い、以上の状況を踏まえ、我が国の途上国支援の結核対策関連予算を充実させることを要望いたします。

特定非営利活動法人

ストップ結核パートナーシップ日本

代表理事 森 亨

同 田中慶司

同 白須紀子